

Cosmonate M-200 Introduction -Technical Data Sheet-

Contents

- I . **Cosmonate M-200** 適用分野
 - II . **Cosmonate M-200** 物理的特性
 - III . **Cosmonate M-200** 取り扱い方法および注意事項
-

KUMHO MITSUI CHEMICALS, INC

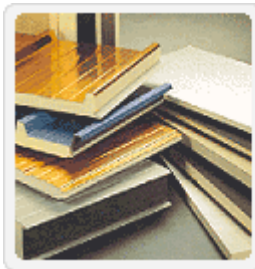
Application Technology Center

Cosmonate M-200 適用分野

■ 製品の特性

Cosmonate M-200は、硬質及び反硬質分野でポリウレタンフォームの製造に幅広く使われる汎用製品のPolymeric MDIだ。Cosmonate M-200は常温で液状の製品で、-20℃までは保存及び取り扱いが容易である。無溶媒の形で 4,4-Diphenylmethane Diisocyanateの単量体MDIと、これらの二量体、三量体、四量体以上のオリゴメールが混合されている、最大220cps (25℃)の粘度と約2.3~2.7の平均官能基を持つ製品である。

■ 製品の適用分野



建築用パネル



スプレー保温断熱材



冷蔵庫



自動車内装材

Cosmonate M-200は建築用断熱材パネル、冷蔵庫、自動車内装材などに広く使用されている。

Cosmonate M-200 物理的特性

■ 製品規格及び一般物性

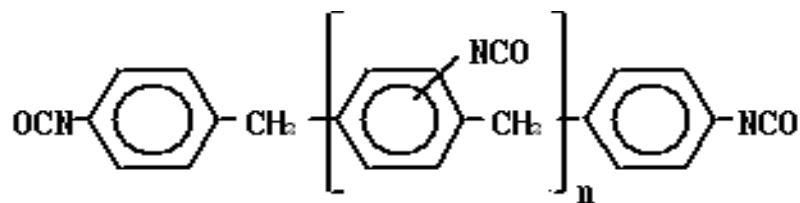
製品規格

項目	評価方法	単位	結果
NCO 含量	ASTM D 1638	wt%	30.0~32.0
粘度(25℃)	ASTM D 1638	cps	150~250
比重(25℃)	ASTM D 1638	-	1.23~1.25

一般物性

製品の外見			茶色液体
沸騰点		℃	200~208
凝固点		℃	-20 以下
蒸気圧(25℃)		mmHg	無視できる
引火点		℃	177~218

■ 化学構造



Cosmonate M-200 取り扱い方法および注意事項

■ 製品包装

Cosmonate M-200は 250kgの円筒ドラム、またはBulk供給。

■ 安全及び健康

肌に接触した場合は発疹及び炎症などが発生することがある。目に入った時は酷く痛み、長時間放置した場合は視力障害を起こすこともある。また MDIの蒸気などを吸いこんだ場合、気管支喘息、頭痛、呼吸困難などが発生することがある。飲み込んだ場合は消化器の刺激、及び、炎症をもたらす。肌に接触した場合は多量の水、または石鹼水で十分に洗浄するようにする。そして、目に入った場合は多量の水、または石鹼水で15分位洗浄した後、医師に診てもらうようにする。また、MDIの蒸気などを吸いこんだ場合は新鮮な空気の下に移し、安静を取り、体温を保つようする。必要によっては人工呼吸をする。飲み込んだ場合は多量の水、または牛乳、生たまごを食べさせて吐くようにして、迅速に医師の診察を受けるようにする。引火の危険は非常に少ないが火器に気を付けなければならない。消火する際、炭酸ガスによる消火が適切である。大火事の場合は水で消火する。

■ 保存及び取り扱う

M-200の適正保管温度は20~35℃である。水分が保存容器に入らないように十分に気を付け、なるべく乾燥窒素ガスで容器を密閉させる。MDIを使って作業をする場合は適切な安全装備を着用し、必要の際、換気装置の設置や、防毒マスクを着用する。作業後、必ず石鹼水で洗い、汚染された作業服は必ず洗浄して着用する。